

こめだあら

米田町地域交流広場事業
推進委員会
会長 石堂 求

明けましておめでとうございます

平成21年に米田町11地区の自治会が集まって、「米田仲よし広場」の活動が始まり、各団体の資料作成や情報交換など、地域活動の拠点として、街づくりに貢献できたのではないかと考えております。中でも、毎年11月に開催する「米田なかよしフェスティバル」は、米田町の年間行事としておかげさまで定着しつつあります。



その間、公民館が地域交流センターに変わり、子育て支援センターが曾根地区に、高齢者大学が生石に移るなど地域資源環境が大きく変わっております。今後、米田仲よし広場が地域の拠点としてどう充実し、活動を続けていけるか、皆様のご意見も伺いながら検討しなければならない時期にきております。



本年も、地域に根差した交流の拠点として、「米田仲よし広場」の活動を進めて参りますので、皆様のご理解とご支援ご協力をよろしくお願い致します。

(米田仲よし広場スタッフ一同)

※ 年末年始休館日：12月20日から翌年1月4日まで



ホームページ

第11回米田なかよしフェスティバル開催

11.8～9 米田地域交流センターにてなかよし交流作品展を開催いたしました。

米田・米田西小学校の児童、米田こども園・米田西保育園の園児達と町内の5つのグループ、2つの書道教室、そして7名の方々が絵画、書道、押し花絵、切絵、姉さま人形、パッチワーク、革製品、紙粘土、着物・帯など手作り作品、更に多肉植物など多くの作品が会場一杯に展示されました。

子ども達の思いが詰まった絵、“感謝、成長、友情”など力強い書作品、グループの皆さんのバラエティーにとんだ共同作品、そして各部門において本格的な作品が出展され、会場のあちらこちらで「すごいね」、「私も作りたいわ」などの話し声が聞かれました。また、作品出展者の方々からも「皆に見てもらえて良かったね」の声が作品搬出時に聞くことができました。「作って楽しい、飾ってうれしい、わくわく作品展」となりました。来年も開催したいとの思いが募りました。

開催期間中、雨の降る時間帯もありましたが、来場者数は前年同様500人以上となりました。来場者の皆さん、会場設営・運営に携わっていただいた米田地域交流センタースタッフの皆さん、各自治会の皆さん、各団体の皆様のご協力を得て成功裡に終わることができましたことをお礼申し上げます。



11.30 防災運動会を米田小学校で開催

晴天に恵まれ約300人の参加を得て米田連合自治会防災運動会を米田小学校体育館で開催いたしました。今回の防災運動会は、避難所の開設から運営、過ごし方についてより具体的に体験することを目的に行いました。本部の開設と役割、避難スペースの確保、避難所で発生する課題への対応、そして避難者として簡易ベット・トイレ、テントの設置など危機管理室の皆さんの指示のもと行われました。

一方、食事班として婦人会・エプロン会の皆さんがアルファ化米のご飯を作り、豚汁の炊き出しもしていただきました。また、避難所でのレクリエーションとして老人クラブ、児童ボランティアの皆さんのお世話で「輪投げ大会」を開催したり、新聞スリッパを作ったり約2時間半の有意義な時間を過ごしました。

また、前回同様に宝殿中学校の吹奏楽部による素晴らしい演奏があり、生徒さん達の防災の標語、防災ポスターも展示され、いずれの作品も日頃から防災に関心を持ち、防災の大切さを教えてくれる作品でした。



今回の防災運動会開催の意義

今回のテーマは、避難所開設・運営にあたっての困りごとを共有し、対策を考えることを各自治会長に対応いただくことを前提とし、災害が発生するとライフラインが途絶えて物資も不足する最中に、トイレ、急病者、障がい者、高齢者、妊産婦、乳幼児、ペット、車中避難を希望する人など避難所に様々な事情を抱えて避難者がやってきます。それらの課題への対応を躊躇している時間はなく、すぐに最善の対応が迫られます。

阪神淡路大震災から31年が経過しようとしていますが、昨年1月の能登半島地震においても、災害当初の避難所は30年経過していても同様の様子でした。水がない、トイレはどうすればよいのか、プライバシーは守られるのかなど課題は山積です。

高砂市では、最低限の避難物資は各学校や地域交流センターに備蓄していますが、消費期限もありますので数に限りがあります。ですから各自で最低限でも水・食料・トイレの備蓄を行う必要があります。

さらには、暑さ寒さの対策も重要となります。また、服用している薬も手放せません。日頃から様々な事情に応じた備蓄を心がけていただきたいと思います。

11月30日の米田連合自治会防災運動会に企画段階から防災士として参加しましたが、今回の防災運動会が「南海トラフ巨大地震」発災を想定した避難所開設、運営の訓練になれば幸いです。

(兵庫県防災士会 石崎 徹)

編集後記

今号は、地域で活躍されている皆様と一緒に開催した「第11回米田なかよしフェスティバル」を特集しました。今年の干支は「午年（うまどし）」、午年は行動力や活発さ、前向きに進む力を表し、情熱を持って突き進み、燃え盛るようなエネルギーで道を切り拓いて進むといった縁起のよい年とも言われています。新たな気持ちで本年も地域に密着した皆様の活動情報を提供して行きたいと思いますので、ご愛読の程よろしくお願いいたします。